

令和元年度 (公社)全薬協 登録販売者生涯学習研修確認テスト
第2講座『皮膚の痒み、肌荒れ』(一般に高い熱が出る病気は取り上げません)

問1.【受診勧奨】受診勧奨が適当と思われる症状には○,セルフメディケーションが可能なら×を記入して下さい。

注意! : 診断はできません。受診勧奨の際,思い当たる病名などを口に出さないように注意しましょう。

(1) 受診を勧めるべき生命やQOLの低下に関わる緊急性の高い重大な症状ではないか?

①発疹はないが,体が痒い。皮膚や白眼の部分で黄色くなっている。尿の色も濃くて泡立つ。

②尿量が減って浮腫みっぽい。発疹はないが全身痒く,だるさがあり,気持ちも悪い。

(2) その他,受診を勧めるべき症状ではないか?

①足首の上に色素沈着がみられたがガサガサして痒くなってきた。下肢静脈瘤がある。

②胴体片側の皮膚に,ピリピリ感と痒みがあらわれ,それが痛みはじめたと思ったら,今度は赤くなって水疱がプツプツと...

③痒い赤〜紫の複数のプツプツ(丘疹)ができ,融合して鱗屑を伴う扁平な台地状(苔癬)になっている。皮膚を掻くと新たにできる※。口の中の頬の粘膜が白くただれができています。

※引っかくなど外力が加わったところに同様の発疹ができる現象をケブネル現象と言い,尋常性乾癬でもみられる。

こすれやすい肘や膝,尻,頭などから発疹が出てきたり,あるいは発疹がひどい傾向がある。

④主にこすれやすい所の皮膚が赤くなって盛り上り,雲母状銀白色になってはがれ落ちる。

⑤あちこち鳥肌のようになって痒くガサガサ。顔は額や目のまわりが赤い。

⑥手などが増殖した黄白色の角質に覆われ,剥がれ落ちたり亀裂を生じたりしている。(→)

⑦山から戻ったら首がムズムズする。鏡で見たら黒いイボみたいなのが。(→)

⑧湿疹と思い,湿疹の薬を塗っていたがよくならずに少しずつ広がってきた。



国立感染症研究所 H.P.

提供
広島県 保健環境センター



問2.【セルフメディケーションでも対応できる皮膚の痒み,肌荒れ】()に当てはまる製剤を下欄から選んで下さい。

・湿疹は,紅斑,丘疹,水疱,痂皮,鱗屑など多彩な症状が混在し,痒みを伴う非伝染性の皮膚疾患の総称。そのうち,接触性皮膚炎=かぶれは,刺激となるものに直接接触したことで起きる。(①)

の塗布と抗ヒスタミン作用のある内服薬が有効。

・蚊などによる軽い虫刺されには抗ヒスタミン剤でよいが,原因がシラミで体毛に膠着した卵を発見した場合には(②)によりシラミを排除する必要がある。



・乾燥肌の痒みは,まず(③)でバリア機能を高め,眠れない場合は抗ヒスタミン剤の内服。

・蕁麻疹は紅斑・膨疹・痒みを生じ,個々の皮疹は24時間以内に出没。I型アレルギーの他,物理的刺激,薬剤,運動,体温上昇等が誘因になりうる。原因・悪化因子を除去・回避し,(④)を内服。



皮脂欠乏性湿疹

・たむしは,境界鮮明に丘疹が環状に連なる。痒く鱗屑や痂皮を伴い,中心部は治癒傾向。(⑤)を用いる。

・伝染性膿痂疹(とびひ)のうちの水疱性膿痂疹は黄色ブドウ球菌が原因。かき壊し⇒小水疱⇒びらん,飛び火する。範囲が限局していれば(⑥)を使用し,広範囲に広がった場合には内服薬も必要なので,受診勧奨。

・霜焼け(凍瘡)は末梢部位が寒さで循環障害を起し赤く腫れて痒くなるので,(⑦)としての働きが要る。

A. 保湿剤 B. 抗真菌剤 C. ステロイド性抗炎症剤 D. 抗菌剤 E. 抗ヒスタミン剤 F. 血行促進剤 G. 殺虫剤

問3.【一般用医薬品の使い分け】

(1) 消炎又は鎮痒成分の特徴に対応する成分群を下欄から選んで下さい。(抗ヒ成分=抗ヒスタミン成分)

①皮膚の局所に限局している虫刺されやアレルギー性皮膚疾患に有効な抗ヒ成分。内用では中枢抑制作用が強い。

②吸収されると速やかに代謝されて活性を失うアンテドラッグのステロイド性抗炎症成分。

③局所刺激作用を減弱させた非ステロイド性抗炎症成分。広範囲や長期使用が可能。

④抗アレルギー作用を持つ内用抗ヒ成分。遅効性で有効率もやや低いが,抗コリン作用,中枢抑制作用は非常に弱い。

⑤抗アレルギー作用を持つ内用抗ヒ成分。やや遅効性だが有効性は高く持続性で,抗コリン作用の心配(排尿困難や緑内障の人への注意等)はなく,中枢抑制作用は非常に弱い。

A. プレドニゾロン吉草酸エステル酢酸エステル, ヒドロコルチゾン酪酸エステル B. ウフェナマート

C. アゼラスチン塩酸塩 D. メキタジン E. ジフェンヒドラミン塩酸塩 F. クロルフェニラミンマレイン酸塩

(2) 次の「皮膚炎」「かゆみ」等に関わる効能・効果を持つ、承認基準に基づく漢方製剤を下欄から選びなさい。

- ①体力中等度で、皮膚はかさかさして色つやが悪く、のぼせるものの次の諸症：月経不順、月経困難、血の道症、更年期障害、神経症、湿疹・皮膚炎
- ②体力中等度以下で、疲れやすく尿量減少又は多尿で、ときに手足のほてり、口渇があるものの次の諸症：排尿困難、残尿感、頻尿、むくみ、かゆみ、夜尿症、しびれ
- ③体力中等度以上の人の皮膚疾患で、かゆみが強くて分泌物が多く、ときに局所の熱感があるものの次の諸症：湿疹・皮膚炎、じんましん、水虫、あせも
- ④体力中等度以上で、のぼせがみで顔色赤く、いらいらして落ち着かない傾向のあるものの次の諸症：鼻出血、不眠症、神経症、胃炎、二日酔、血の道症、めまい、動悸、更年期障害、湿疹・皮膚炎、皮膚のかゆみ、口内炎
- ⑤体力中等度以下で、冷え症で、皮膚が乾燥するものの次の諸症：湿疹・皮膚炎(分泌物の少ないもの)、かゆみ

A. うんけいとう 温経湯	B. うんせいひん 温清飲	C. おうれんげどくとう 黄連解毒湯	D. けいしぶくりょうがんりょうかよくいにん 桂枝茯苓丸料加薏苡仁	E. しょうふうさん 消風散	F. とうきいんし 当帰飲子
G. びやくとう 白虎湯	H. ろくみがん ろくみじおうがん 六味丸(六味地黄丸)				

問4.【患者情報確認・生活スタイル】一般用医薬品の鎮痒・消炎、しもやけ・あかぎれ、保湿成分名のうち、使用上の注意に照らして最も適当なものを選んで下さい。

- ・鎮痒消炎薬に（ ① ）が配合されている場合、水痘、みずむし・たむし又は化膿している患部に使用してはならない。また、使用上の注意に記載はないが、糖尿病の人、かきこわして細菌感染の心配がある場合には受診勧奨が望ましい。全身的な副作用を避けるため長期連用してはならないが、患部が広範囲の人にも要注意。1日2～3回、3～4日で切り上げられないなら受診してもらう。
- ・出血を助長するおそれがあるので、出血しやすい人や血が止まりにくい人は、血液凝固抑制作用のある（ ② ）や（ ③ ）を使用することはできない。
- ・保湿成分の（ ④ ）は、「乳幼児」への使用について相談事項になっている製品や用法に関する注意に「小児に使用させないこと」と記載された製品もある。皮膚の弱い乳幼児では、慎重に使用する必要がある。
- ・（ ⑤ ）は、強い刺激臭があり、知覚神経に麻痺を起こさせる働きやギ酸を中和する効果があるが、蟻以外の虫刺されに対する効果を疑問視する意見が多い。

虫刺されは一般に、異種タンパクが注入されることによる中毒やアレルギー反応であることから、程度により（ ⑥ ）やステロイド性抗炎症成分を使うのが適当。

- ・抗アレルギー作用を有する（ ⑦ ）は、服用時の飲酒、服用後の乗物の運転及び授乳等を避けなければならない他、妊娠中は使用することができないが、排尿困難の人や緑内障の人に対する特別な注意はない※。

※：バイオメディックス製造販売製品は例外。使用上の注意記載事項に関する通知の「アレルギー用薬」の項目で「抗ヒスタミン剤を含有する場合」に従って記載したとのことだが、スイッチOTC化された当初の製品をはじめ他社製品には記載はない。

A. 抗ヒスタミン成分	B. ステロイド性抗炎症成分	C. ポリエチレンスルホン酸ナトリウム
D. 尿素	E. アンモニア水	F. ヘパリン類似物質
		G. アゼラスチン塩酸塩

問5.【アドバイス】次の文章が正しいものには○を、誤っているものには×を、解答欄に記入して下さい。

ただし、「※」の説明部分は問題の範囲ではありません。

乾燥肌のスキンケアと虫に刺されたときのために・・・

- ①乾燥肌の場合、入浴時には石鹸を泡立てて手のひらで優しく洗い、入浴後すぐにローションやクリームで皮膚を保護しましょう。
- ②香辛料の効いた辛い食べ物やお酒は血液の循環をよくするので、お肌が痒い時には痒みを増します。
- ③尿素の保湿作用は、高濃度の方が効果が高いので、10%より20%の製剤をおすすめします。
- ④ハチに刺されたら、とりあえずアンモニアの代用でおしっこを付けると、ひどくならず済みます。
- ⑤ステロイド剤は、擦り込まずに使い、出口径5mmのチューブの軟膏やクリームなら、人差し指の先から第一関節まで出した量（1FTU）※で、成人の手の平2枚分の面積に十分使えます。

※フィンガー・チップ・ユニット（FTU）：1FTUは男性で約0.5g。塗り薬一般の使用量の目安になる。



令和元年度 (公社) 全薬協 第2講座『皮膚の痒み、肌荒れ』確認テスト正答と解説

問1. 【受診勧奨】医療機関への受診が必要かどうかを振り分ける。【答: (1), (2) すべて ○】

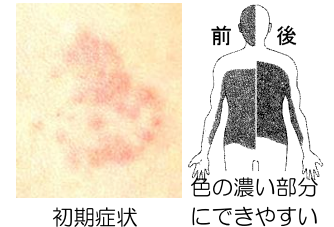
(1) 痒みの原因が問題の病気や異常による場合には、抗ヒスタミン剤では効果が得られない。

①黄疸の症状。ヘモグロビン分解物の**ビリルビン**が胆汁として排泄できずに血中に溜って起こる。肝細胞性黄疸、閉塞性黄疸、溶血性黄疸があり、**肝障害、胆管の閉塞**を起こす疾患、**溶血性貧血**など重大な疾病が隠れている。

②腎不全で尿毒症を起こしているおそれがある。味覚異常、金属様の味、動悸、咳、息苦しさなどもみられる。

(2) ①下肢静脈瘤による鬱滞性皮膚炎のおそれ。皮膚への酸素や栄養の供給が不足し、酷くなると潰瘍を生じる。

②帯状疱疹のおそれ。脊髄後根神経節あるいは三叉神経節の神経節に潜伏した**水痘・帯状疱疹ウイルス**が免疫低下時等に再活性化し、感染した神経線維が支配する領域の皮膚に、**紅斑と小水疱が帯状にかたまって生じる**。水疱から水痘を他人にうつしうる。顔面に症状が出た場合は角膜や結膜の炎症、耳鳴りや難聴、顔面神経麻痺が残ることがある。皮膚病変の出現後 72 時間以内に抗ウイルス薬を使用することが推奨される。



③扁平苔癬のおそれ。**四肢の関節部、陰部**などに好発。「**網状**」と表現される口中の発疹がみられることがある。

④尋常性乾癬のおそれ。原因ははっきりしないが、食事の西洋化が関係していると類推されている。**にきびのような赤い発疹で始まり、ある時を境に消失するというのを繰り返す**。爪に症状が出ると爪水虫に似て白く厚くなる。

⑤アトピー性皮膚炎のおそれ。**角質細胞間脂質(セラミド)不足**から肌が乾燥し、汗や衣服との摩擦などの刺激で皮膚炎を生じる。アレルギー、疲労、寝不足、ストレス、不規則な生活、女性では月経前も増悪要因。

⑥角化型疥癬のおそれ。ヒゼンダニ(全長 0.4 mm)が角質層に寄生。**角化型ではイベルメクチンの内服が必要**。高齢者施設等で**集団発生**が増加。通常疥癬では疥癬トンネルと呼ばれる曲がりくねった線状疹と夜間に激しくなる痒みが特徴で、イオウ・サリチル酸・チアントール軟膏(第2類)で済むこともある。

⑦マダニに吸血されているおそれ。**無理に除去すると一部が皮膚内に残り化膿したり、マダニの体液が逆流する**。マダニを介したウイルス感染症=**重症熱性血小板減少症候群**の報告がある。**6日~2週間後に発熱と消化器症状が出たら受診**。致死率は6.3~30%。



マダニの若虫と成虫

⑧ボーエン病も考えられる。有棘層の細胞が癌化したものだが真皮に及んでいない状態。**有棘細胞癌とは異なるが、放っておくと真皮に侵入して有棘細胞癌と同じ状態になる**。

問2. 【一般用医薬品でも対応できる皮膚の痒み、肌荒れ】【答: ①C, ②G, ③A, ④E, ⑤B, ⑥D, ⑦F】

①外用剤の使用個所に紫外線があたると、重症の接触皮膚炎を起こすこと(光線過敏症)が知られた成分にケトプロフェン等がある。数か月遡って使用歴がある場合には受診勧奨。軽い痒みと黄白色の鱗屑がついた紅斑が特徴の**脂漏性皮膚炎**は、皮脂を好む常在真菌マラセチアが主な原因と考えられ、ミコナゾールシャンプー等で除菌。

②炎症が強いものには抗ヒスタミン成分を含むステロイド剤を塗布し、冷湿布。**ハチは受診勧奨が無難で、30分程の間に、かゆみが広がる、呼吸がおかしい(喘鳴)、冷や汗が出る等ショックの兆候が現れたら救急車**。

保育・幼稚園や小学校で集団発生するシラミはアタマジラミで、皮膚から吸血して、かゆみ、湿疹などを起こす。

⑥溶連菌による痂皮性膿痂疹の場合は^{かさぶた}瘡蓋が厚く、**急性腎炎の原因にもなるので、1か月程は尿量減少等に注意**。

問3. 【一般用医薬品の使い分け】

(1) 【答: ①E, ②A, ③B, ④D, ⑤C】 ②<<Medium>>のステロイド性抗炎症成分。吸収しやすい皮膚の小児や高齢者向き。**細胞膜のリン脂質からアラキドン酸を切り出す酵素, 「ホスホリパーゼ A₂」を阻害する蛋白の合成を促進し、炎症の始まりの段階でその流れを抑制する**。

③ウフェナートは、フルフェナム酸をエステル化して**局所刺激作用を減弱**させ、皮膚外用剤として開発された。膜安定化及び活性酸素生成抑制作用など、生体膜との相互作用により消炎作用を示す。

⑤アゼラスチン塩酸塩の血中濃度は、OTC 用量の 1 mg 単回投与の場合、非常になだらかに減少し、T_{1/2}=約 23 時間(3mg⇒16.5 時間)。

F. クロルフェニラミンマレイン酸塩: 即効性で効果が高く、副作用も弱め。

d 体は、半量で同様の効果が得られ、副作用はさらに弱い。

主な一般用 外用ステロイド性抗炎症成分

Strong	フルオシノロンアセトニド、ベタメタゾン吉草酸エステル
Medium	プレドニゾロン吉草酸エステル酢酸エステル、ヒドロコルチゾン酪酸エステル、デキサメタゾン、トリアムシノロンアセトニド
Weak	プレドニゾロン、プレドニゾロン酢酸エステル、ヒドロコルチゾン、ヒドロコルチゾン酢酸エステル、デキサメタゾン酢酸エステル

毛細血管の透過性低下や組織への白血球の浸潤抑制につながる血管収縮作用の強さで分類された。佐藤製薬の資料ではプレドニゾロン吉草酸エステル酢酸エステルを Strong に分類している。

成分	ジフェンヒドラミン塩酸塩 (レスタミンコーワ錠 10mg)	クロルフェニラミンマレイン酸塩 (d 体のポララミンより)	メキタジン (ゼスラン)	アゼラスチン塩酸塩 (アゼプチン錠 1 mg)
薬物動態	健康成人に 50 mg (OTC30 mg) Tmax=2.3±0.2 時間	健康外国人に 12mg (OTC4 mg) Tmax=3 時間 T1/2=7.9±2.5 時間	健康成人に 3 mg (OTC2 mg) Tmax=6.7±0.62 時間 T1/2=5.43±0.71 時間	健康成人男に 1~3mg (OTC1 mg) Tmax=4 時間 T1/2=約 23 時間 (1 mg の場合)
有効率	蕁麻疹 94.5%, 皮膚炎 61.1%, 痒痒症 20.0%, アレルギー性皮膚疾患 78.6%	蕁麻疹 80.5%, 皮膚疾患に伴う痒痒 (湿疹, 皮膚炎, 皮膚痒痒症, 薬疹) 74.6%	蕁麻疹 69.5%, 湿疹・皮膚炎群 62.6%	皮膚疾患 (蕁麻疹, 湿疹・皮膚炎, アトピー性皮膚炎, 皮膚痒痒症, 痒疹) 83.2%

(2) 【答: ①B, ②H, ③E, ④C, ⑤F】

OTC 用量では若干異なると思われる

A. 温経湯 体力中等度以下で, 手足がほてり, 唇がかわくものの次の諸症: 月経不順, 月経困難, こしけ(おりもの), 更年期障害, 不眠, 神経症, 湿疹・皮膚炎, 足腰の冷え, しもやけ, 手あれ(手の湿疹・皮膚炎)

D. 桂枝茯苓丸料加薏苡仁 比較的体力があり, ときに下腹部痛, 肩こり, 頭重, めまい, のぼせて足冷えなどを訴えるものの次の諸症: にきび, しみ, 手足のあれ(手足の湿疹・皮膚炎), 月経不順, 血の道症

G. 白虎湯 体力中等度以上で, 熱感, 口渇があるものの次の諸症: のどの渇き, ほてり, 湿疹・皮膚炎, 皮膚のかゆみ

問 4 【患者情報確認・生活スタイル】 【答: ①B, ②C, ③F, ④D, ⑤E, ⑥A, ⑦G】

①免疫抑制作用により, 感染症を誘発したり増悪したりするおそれがある。免疫力は糖尿病によっても低下する。広範囲の使用が長期に続くと, 後囊白内障, 緑内障等の眼疾患, 皮膚の感染症, ステロイドざ瘡, ステロイド皮膚 (皮膚萎縮, 毛細血管拡張), 魚鱗癬様皮膚変化, 紫斑, 多毛及び色素脱失等の皮膚症状, 下垂体・副腎皮質系機能の抑制等が起こるおそれがある。また, 動物実験で催奇形作用が報告されているため, 医療用医薬品の添付文書では, 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人に対して「大量又は長期にわたる広範囲の使用を避けること」とある。一般用に妊婦等に対する注意の記載がないのは, 長期連用しないことになっているからである。

②, ③出血性血液疾患 (血友病, 血小板減少症, 紫斑病など) の人は使用できない。

④角質溶解剥離作用が強く出やすいので, 尿素有配合量が 10% を超える製剤は, 「小児の乾燥性皮膚」や「手足のかさつき」等の小児が対象となりうる効能・効果をとることができないことにもなっている。ヘパリン類似物質も血行促進・抗炎症作用の他に保湿作用があるが, 小児に対する注意は特でない。

⑤アンモニア水は, 「虫さされ」, 「かゆみ」の効能・効果が取られている他, 「打撲」, 「捻挫」, 「肩こり」, 「腰痛」, などの効能・効果を併せ持つ製剤にも配合されている。アンモニアガスの吸収により, 鼻粘膜の知覚神経を刺激し, 反射的に中枢興奮を呼び, 血圧上昇, 呼吸亢進をきたすことがあるので, 「気付け」の効能・効果を併せ持つ製品もある。強い局所刺激作用を有するので, 乳幼児や皮膚の特に弱い人, 顔や頭皮に使用する人には別の薬を勧めたい。患部に軽く塗るだけにとどめ, ガーゼ, 脱脂綿などに浸して患者に貼付しないこと。アンモニア水は, 10w/v%前後の濃度でも短時間の皮膚接触で灼熱感や発赤をきたし, 長時間にわたると局所の壊死を招く。定められた用法を守ることが大切である。

⑦アゼラスチン塩酸塩は中枢神経系の抑制作用は弱いものの「眠気」等の報告があり, 動物実験では乳汁中に移行する。ラットで大量投与による催奇形作用の報告があり, 妊娠中は使用できない。

問 5. 【アドバイス】 ①○ ②○ ③× ④× ⑤○

③角質溶解剥離作用は, 高濃度の方が効果があり, 皮膚の軟化を主目的に, 例えば硬くなった足のかかとなどに使用する場合には 20%の方をおすすめするが, 保湿作用は各濃度間で大きな差はないと言われており, 乾燥肌では, 刺激に弱くなっていることから, むしろ低濃度か, 無配合のものを選んだ方が多い場合も多い。

④ハチ毒は, 結合組織破壊, 血圧降下, 細胞膜透過性亢進, 痛み, 平滑筋収縮などを起こす複合タンパクで, 問 4 ⑤の説明にあるとおり, アンモニアで中和できるものではない。

参考文献等: 『六訂版 家庭医学大全科』⇒以下に『家医』と略記/問 1. (1)①がん情報サービス「胆管がん」, 日経 Gooday『病院で受ける検査事典』, ②一般社団法人全国腎臓病協議会「腎臓病について」, / (2)①『家医』うつ滞性皮膚炎, ②『家医』帯状疱疹, マルホ H.P.『帯状疱疹』/③『家医』扁平苔癬/④『家医』常性乾癬/⑤『家医』成人のアトピー性皮膚炎/⑥国立感染症研究所 H.P.疥癬とは/⑦厚生労働省 H.P.・国立感染症研究所 H.P.重症熱性血小板減少症候群 (SFTS), 国立感染症研究所 H.P.・広島県感染症・疾病管理センター/⑧日本皮膚悪性腫瘍学会 H.P.・/問 2. 『家医』炎症性の皮膚の病気/①『家医』接触皮膚炎・脂漏性皮膚炎/②感染症情報センターわが国における蜂刺症/③『家医』乾皮症・皮脂減少性皮膚炎/④日本皮膚科学会『蕁麻疹診療ガイドライン 2018』/⑤『家医』体部白癬/⑥『家医』伝染性膿痂疹/⑦『家医』凍瘡/問 3. 医療用医薬品添付文書・インビューフォーム, 日本皮膚科学会 H.P. (1)『今日の OTC 薬第 4 版』/ (2)一般用漢方製剤承認基準の改正について/問 4. 薬事日報社『一般用医薬品使用上の注意ハットブック改訂版』, 医療用及び一般用の添付文書, かせ薬等の添付文書等に記載する使用上の注意の一部改正について, 一般用漢方製剤の添付文書等に記載する使用上の注意の一部改正について/問 5. ①②『家医』乾皮症・皮脂減少性皮膚炎/③じほう『OTC 薬の実践問題集 2』/④感染症情報センターわが国における蜂刺症/⑤『今日の OTC 薬第 3 版』

令和元年度 登録販売者生涯学習研修確認テスト
第2講座『皮膚の痒み、肌荒れ』
解 答 用 紙

問1.【受診勧奨】受診勧奨が適当と思われる症状には○，セルフメディケーションが可能なら×を記入して下さい。

(1) 受診を勧めるべき生命に関わる重大な疾病の症状ではないか？

①() ②()

(2) その他，受診を勧めるべき疾病の症状ではないか？

①() ②() ③() ④() ⑤() ⑥() ⑦() ⑧()

問2.【セルフメディケーションでも対応できる皮膚の痒み，肌荒れ】適当な語句を選んで下さい。

①() ②() ③() ④() ⑤() ⑥() ⑦()

問3.【一般用医薬品の使い分け】

(1) 消炎又は鎮痒成分の特徴に対応する成分群を下欄から選んで下さい。

①() ②() ③() ④() ⑤()

(2) 挙げられた効能・効果を持つ，承認基準に基づく漢方製剤を下欄から選んで下さい。

①() ②() ③() ④() ⑤()

問4.【患者情報確認・生活スタイル】使用上の注意に照らして最も適当なものを選んで下さい。

①() ②() ③() ④() ⑤() ⑥() ⑦()

問5【アドバイス】正しいものには○を，誤っているものには×を，()の中に記入して下さい。

①() ②() ③() ④() ⑤()

自己点検・復習の確認

まる付けをして間違えたところを復習したら，右のチェックボックスに ✓ を記入して下さい。

☐

〔ご意見記入欄〕

実施日 令和 年 月 日			
支部名(会員のみのみ)	店名	販売従事登録番号	氏名
〒	自宅住所	TEL	